

LANDRiV リリースノート

2015年 2月 5日

LANDRiV for Nivo バージョン 2.8.1

LANDRiV for SPS バージョン 2.8.1

LANDRiV for S3c バージョン 2.8.1

LANDRiV Office バージョン 1.8.1

目次

◆ LANDRiV 新バージョンリリースのご案内	3
◆ 改良内容	3
1. LANDRiV for Nivo/SPS/S3c 共通で変更.....	3
2. LANDRiV for Nivo/S3c 共通で変更	4
3. LANDRiV for SPS で変更	4
4. LANDRiV Office で変更	4

◆ LANDRiV 新バージョンリリースのご案内

以下のとおり、LANDRiV の新バージョンをリリースいたしましたのでご案内いたします。

ソフトウェア名	バージョン	対応機種
LANDRiV for Nivo	2.8.1	Nivo H シリーズ
LANDRiV for SPS	2.8.1	Trimble SPS トータルステーション シリーズ
LANDRiV for S3c	2.8.1	Trimble S3c トータルステーション シリーズ
LANDRiV Office	1.8.1	ニコン製トータルステーション同梱ソフト (2013年2月以降)

ご注意

LANDRiV Office は、ニコン製トータルステーションに同梱されているソフトウェアです。

本バージョンアッププログラムは、既に LANDRiV Office Ver. 1.4.1、Ver. 1.6.0、Ver.1.7.0、Ver.1.8.0 がインストールされているパソコンに対応した内容となっております。

本バージョンの主な変更点は、以下のとおりです。

- ① 基本観測（単回観測）で「測距＋記録」モードの不具合を改良しました。
- ② 路線測設－単点で特定の中心線上測点を選択できない不具合を改良しました。

尚、詳細につきましては、下記内容をご確認ください。

◆ 改良内容

1. LANDRiV for Nivo／SPS／S3c 共通で変更

● 「基本観測（単回観測）」

- 器械設置を行わず、「測距＋記録」モードで観測すると測距終了後に記録処理へ進まず、記録確認画面に進む不具合を改良しました。

● 「路線測設」

- 路線測設－単点で、ある特定の中心線上の点を選択すると「入力された条件では、センター点の座標を計算できません」と表示され先に進めない不具合を改良しました。

2. LANDRiV for Nivo/S3c 共通で変更

● 「データ入出力」

- データ入出力の「読み込み」を通信経由にて行うとすべてのフォーマットで読み込めない不具合を改良しました。
- データ入出力の「書き出し」を通信経由にて行うと『APA フォーマット』で出力できない不具合を改良しました。

※ シリアル通信・Bluetooth 通信、双方の通信が改良対象です。

3. LANDRiV for SPS で変更

● 「ターゲットセット」

- ターゲットタイプを『T-360LED（レフシートが円柱に貼られたターゲット）』で観測すると 70m 程度の近距離では測距できますが、それ以上になると測距できない不具合を改良しました。

※ 対象製品：SPS630/730/930

上記製品以外の測距距離は、約 70m（T-360LED 使用時）になります。

● 「インストーラ」

- TSC2 に LANDRiV を再インストールする時に工場入荷状態（初期化）に戻し、インストールすると正しくインストールされない不具合を改良しました（TSC2 のみ対象）。

4. LANDRiV Office で変更

● 「外部通信」

- Trimble S3c（LANDRiV for S3c）と組み合わせてデータ入出力の「書き出し」をシリアルケーブル経由で行うとすべてのフォーマットが出力されない不具合を改良しました。

以上